

ターニングポイント® 利用案内

○目的

授業や講演会で学生や受講者の反応をリアルタイムに反映する双方向性授業の導入が進んでいます。本学の医学教育および研修に役立てるために「ターニングポイント®(Audience Response System)」を導入します。

○予約と機器貸し出しの方法

1. 貸出日の1週間前までに希望日の利用が可能か確認する
 その際、利用人数を説明する
 連絡先：医療人育成・支援センター 医学教育部門教員室 内線 2178
 (不在の場合は、スキルラボ管理室 内線 3387)
 2. 「利用申込書」を HP からダウンロードし、必要事項を記入の上、スキルラボ管理者教員室に持参し承認を受ける（「利用許可書」を受け取る）
 入手先1：本学「desknet's」文書管理-医療人育成・支援センターターニングポイント
 入手先2：医療人育成・支援センターHP ーターニングポイント
 (<http://www.fmu.ac.jp/home/cmecd/>)
 3. スキルラボ管理者教員室に「利用許可書」を持参して、機器の貸出しを受ける
 貸出期間は原則として、授業・講演会の前日から当日まで
 システムの内容

・レシーバー	1台
・レスポンスカード	120枚
・デバイスID一覧表(レスポンスカードのシリアルNo.一覧)	1枚

 *現在、3システムを保有しており最大360名での使用が可能
 4. 授業、講演会で使用
 5. レスポンスカードを番号順に収納し、紛失がないことを確認した上でスキルラボ管理者教員室へ返却する。夕方の使用の場合は翌朝までに返却する
- *利用予約、貸出、返却の時間 ☎ 平日9:00~17:00
 *利用申請者は本学および附属病院の教職員とする

○ターニングポイント®を用いた授業の準備

PCにPowerPoint2003, 2007がインストールされていることが必要

ターニングポイント®はWindows XP, Vista, 7に対応している

1. 各自のPCにソフトウェア：ターニングポイント®をインストールする
 入手先1：本学「desknet's」文書管理-医療人育成・支援センターターニングポイント
 入手先2：医療人育成・支援センターHP (<http://www.fmu.ac.jp/home/cmecd/>)
2. 必要な質問スライドを作成する
 (ターニングポイント®説明書を参照。入手先は1.に同じ)

○ターニングポイント®を用いた授業（当日の操作）

1. ターニングポイント®をインストールした PC を講義室に持参する
講義室の PC にはターニングポイント®はインストールしない
(レスポンスデータが PC に残るため)
 2. レシーバーを PC に接続する
 3. レスポンスカードを人数分（学生、受講者）配布する
*無用なボタン操作を行わないように指示すること（設定が変わるため）
 4. ターニングポイント®を起動し、作成したファイルを開く
 5. アンケート（双方向性授業）を開始する
 6. 授業終了後、レスポンスカードを回収する
- *アンケートデータは Excel ファイルに出力可能です(ターニングポイント説明書を参照)

○注意事項

- ・原則として、使用は学内での授業および講演会とします。学外での使用はご相談ください。
- ・紛失や破損等があった場合は、利用者に弁済していただきます。

○連絡先

医療人育成・支援センター 医学教育部門教員室（4号館3階）

内線 2178 外線 024-547-1714

スキルラボ管理室（きぼう棟4階西） 内線 3387 公用携帯 080-9152-9042